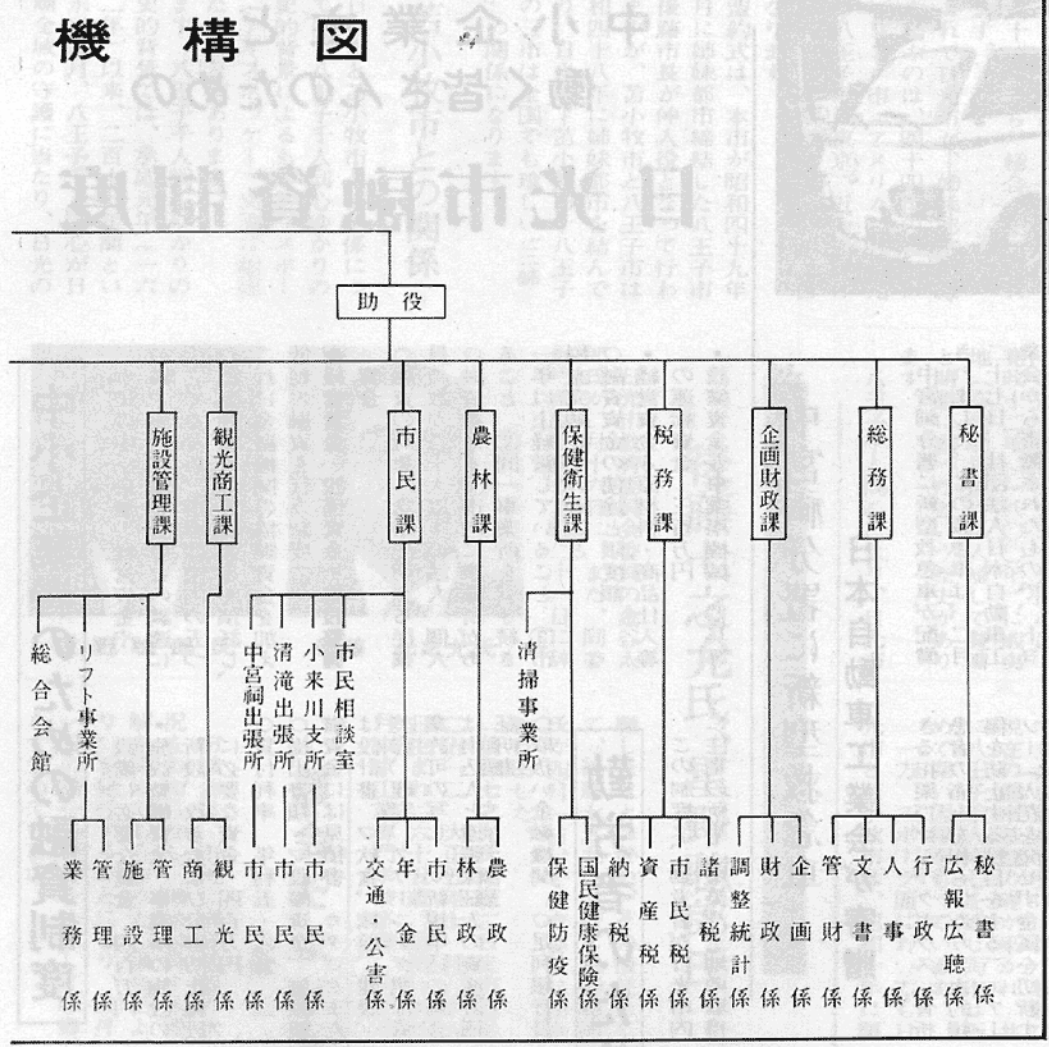


市役所の機構 一部改革

工事検査室を新設

市民相談室には専任職員を配置



市は、「行政事務のより一層の簡素効率化」を目指し、市の実態に即した行政組織、市民の利便に供する組織機構の確立のため、「行政機構図」のとおり、市役所の機構を改革しました。

この改革の主なもの、まず、住民の意思を幅広く市政に反映させるため、市民課に「市民相談室」を設置、専任職員を置き市の行政全般についての相談のほか交通相談も行うなど、広聴活動の充実を図ることにしました。

また、「工事検査室」を新設して、工事の検査を事業部門から切り離し、より適正なチェック機能が発揮できるようにしました。

そのほか、市営住宅の営繕、管理がスムーズにできるようにするため、今まで財政課管財係で所管していた市営住宅関係、建設課管理係に移管、また、きびしい財政事情をふまえて、一層効率的な行政を推進するため、財政部門、企画部門、統計部門を一つにまとめた「企画財政課」（旧財政課）が誕生しました。

さらに、市体育館をはじめ夜間照明施設、テニスコート、野球場などの施設の使用受付、許可はすべて施設管理課で行うことになりました。

このように、市の仕事が多様化の中で、市民の方が利用しやすいように窓口事務の合理化、施設利用の一元化を図った機構にしたものです。

人事

- 市役所（四月一日付）内は前職 ○印は昇任・昇格
- 課長・課長補佐級
- 秘書課長（秘書企画課長）手塚立
- 企画財政課長（財政課長）川井淵
- 企画財政課企画担当主幹兼企画係長（秘書企画課企画担当副主幹）沼尾正彦
- 保健衛生課長（総合会館長）宮沢茂
- 市民課長（保健衛生課長）南知三
- 建設課長（学校教育課長）若月田良男
- 工事検査室長（建設課長兼土木係長兼建築係長）入江忠男
- 学校教育課長（市民課長）五月女利久
- 農林課長（農林課長兼林政係長）星野喜四郎
- 総務課長補佐兼行政係長（総務課長補佐兼行政係長）
- 課長補佐兼行政係長兼人事係長）上木一男
- 税務課長補佐兼資産係長（税務課資産係長）酒井健
- 市民課市民相談室長兼市民課長補佐（学校教育課長補佐兼学校教育係長）片庭雄吉
- 市民課長補佐兼年金係長（会計課長補佐兼会計係長）根村真佐子
- 福祉事務所長補佐兼福祉係長（保健衛生課長補佐兼国民健康保険係長）星野佐一
- 会計課長補佐兼会計係長（福祉事務所長補佐兼福祉係長）石川克己
- 水道課長補佐兼工務係長（水道課工務係長）橋本博慶
- 水道課長補佐兼給水係長（水道課給水係長）君島洋介
- 学校教育課長補佐兼庶務係長（建設課長補佐兼管理係長）齋藤豊
- 小来川財産区議会事務局長兼小